

第3回定例会より (9月17日~10月22日)

児童相談所の強化と社会的な養護が必要な子ども達への支援を!
区に対し、一般質問において2点要望しました。



2020年4月に開設された、江戸川区立児童相談所は「はあとポート」として、傷ついた子ども達を守る港としての大変重要な拠点です。



毎年1000件を超える虐待通告。その子ども達や家庭に全力で対応する職員。時間を確保できるよう万全な体制の強化を求め、区からは、AIを駆使して事務業務を減らし、時間の確保に務めると答弁がありました。



区外の養護施設に入所している江戸川区の子ども達は約300人ほどいます。18歳になると施設を出なくてはならない子ども達には、退所後の厳しい就職や生活の相談支援は欠かせません。こうした子ども達を応援する仕組みをぜひ作っていただきたいと要望。区からは、経済的な支援も基金等の仕組みを検討していくとの前向きな答弁でした。

「江戸川区立小中学校における名簿を男女混合名簿にするよう求める陳情」を全会一致で採択!!



文教委員会で採択され、本会議で報告。現役高校生が陳情者。現在の中学生からもコロナで休校後の分散登校が男女別であることに苦痛を感じたことを発端に、男女混合名簿の導入を求めた陳情です。本区の中学校では男女混合名簿を採用している学校がゼロということに、愕然。もとより、校長の裁量によることは理解しますが、場面によって混合名簿を使うのは可能であり、LGBT(性的少数者)への理解と寛容が学校現場において必要であると考えます。誰も置き去りにしないという「共生社会」を目指すのであれば、ひとり一人の児童生徒に対し柔軟性を持った対応ができる学校であってほしいと思います。

わが街の話題

春江5丁目南公園

生け垣が生い茂り、公園の中が見えずらくて物騒であるとのお声に、土木部水とみどりの課に対策を要望。生け垣がすっきりと剪定され、公園内の様子もわかるようになりました。



公園に隣接した区道は小学校の通学路。しかし、樹木が生い茂り、区道まで大きくはみ出していて、子ども達の通行に邪魔であるとのお声に、水とみどりの課に対策を要望。結果、樹木がすっきりとなり、通行しやすくなりました。



春江橋たもとの区道がすっきり 一之江3丁目

春江橋たもとの土手に通じる区道が公園の雑草で生い茂っており、通行の妨げになると/oお声に土木部に現地調査を依頼。ほどなくしてすっきりと刈り上げられ、通行しやすくなりました。



下水溝の破損の修繕 (西一之江1丁目)

区道に面する下水溝が破損しているとの連絡を受け、土木部保全課に修理を要望。ただちに現場確認し、ほどなくして修繕されました。

